発行月：平成25年11月　**家族新聞**　第307号

環境教育「まず、今できることから」

歴史に学ぶ

発行所：地域環境活性化協議会
編集者：代表幹事　髙橋賢一
連絡先：市民活動支援センター
尾張旭市渋川町三丁目5番地7
（渋川福祉センター内）
TEL　0561-51-2878

日本文化と市文化財を守る活動。

平成二十五年十一月二日

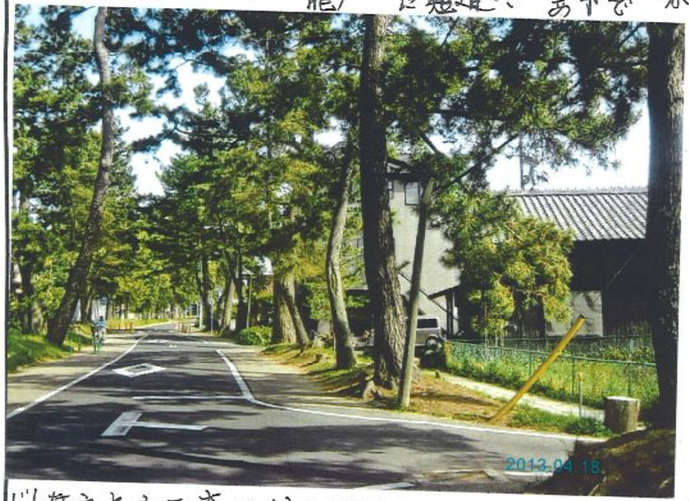
東海道五十三次 御油・宿と赤坂宿見学

江戸時代さながらの町並みが続く御油宿。旅籠がずらりと軒を並べ宿泊客の奪いあいがくりひろげられた頃を想像しながら細くうねった道をゆっくり散策した。

御油から赤坂の間には、東海道中でもっとも見事な松並木がある。

御油から約、七キロ東海道中でもっとも短距離で赤坂につく。

そこには江戸時代の旅籠大橋屋で見学と体験をする。



天然記念物
御油ノ松並木
2013.04.18

▶御油の松並木

御油の松並木は約六百メートルにわたる見事なもので、国の天然記念物となっている。幹肌が亀甲型にヒビワレしているのが特徴の三河黒松である。

大橋屋（かつては鯉屋といった）は慶安二年（一六四九）の創業といい、現在のご主人は十九代目、建物は二百数年前のものという。

大橋屋は広重の絵のモデルとなった旅籠といわれ、やはり小さな中庭と灯籠がある。頑丈そうな柱や太い天井の横木などはつやつやと黒光りしていかにも時代を感じさせる。

尾崎屋
2013.04.18

▶尾崎屋 民芸品店 曲げわっぱの名で知られる木づくりの弁当箱ほか木工芸品が並ぶ。

旅籠「大橋屋」前で全員集合

尾崎屋
2013.11.02